

能登半島
地震による

河北潟および周辺域の

中間報告会

自然環境への影響調査プロジェクト



復興にむけて

2024年1月1日に発生した能登半島地震により河北潟湖岸域でも液状化による家屋の倒壊や湖岸堤防の沈下が広域で起こりました。NPO 法人河北潟湖沼研究所では震災直後に調査チームを結成し、同時に日本水環境学会汽水域研究委員会の協力を得て調査プロジェクトを立ち上げました。

これまで、震災後の湖岸堤防の断面測量、植生状態のモニタリング調査、堤防が決壊した場合の水質シミュレーション等を実施しており、これらの調査結果について、主に一般向けと、研究者・自治体関係者向けの2部構成としたシンポジウムを開催いたします。第1部では、震災の河北潟の自然環境への影響と復興の中で自然再生に取り組む重要性について、一般の方にもわかりやすく解説します。第2部は、これまでの調査研究から明らかになったことについての研究発表会です。最後に研究成果をふまえて、今後の復興事業の中で自然環境保全や地域再生の観点から留意すべきことを提言します。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

開催日 **2024年12月1日**
(日) 9:50~17:30

会場 **近江町交流プラザ集会室**
金沢市青草町88番地
(同時にオンライン配信を予定)

第1部 震災による河北潟の自然環境への 影響と今後の自然再生について

- 9:50 開会
- 10:00 【特別講演】内灘砂丘で何が起きたか
目代邦康 (東北学院大学)
- 10:30 震災被害を拡大した土地利用
高橋久 (河北潟湖沼研究所(以下、湖沼研))
- 11:00 震災の鳥類への影響
中川富男 (日本鳥類標識連盟)
- 11:30 河北潟で起こったことが他の地域で起
こったらどうなるか
山室真澄 (東京大学)
- 12:00 会場からの質疑応答 進行:高橋久
- 12:30 閉会

第2部 調査研究の中間報告会

- 13:50 開会
- 14:00 【基調講演】河北潟における震災被害が
示すこと/山室真澄 (東京大学)
- 14:30 内灘砂丘の液状化・側方流動と地下水
の関係/目代邦康 (東北学院大学)
- 14:50 河北潟干拓堤防の損壊に伴う植生の変
化/川原奈苗 (湖沼研)
- 15:10 低空航空写真を用いた湖岸堤防の被災
状況解析/伊豫岡宏樹 (九州産大学)
- 15:30 内灘砂丘湧水に関わるクロズナ層の透
水係数について/永坂正夫 (金沢星稜
大学)
- 15:50 休憩
- 16:00 河北潟シミュレーションモデルの構築
/井上徹教 (港湾空港技術研究所)
- 16:20 河北潟西部湖岸堤防及び大野川右岸堤
防への影響/福原晴夫 (湖沼研)
- 16:40 河北潟における防潮水門による水位操
作と電導度の変化/奥川光治 (湖沼研)
- 17:00 まとめとディスカッション (復興事業
への提言) /進行:永坂正夫 (金沢星
稜大学)
- 17:30 閉会

主催 NPO法人河北潟湖沼研究所 / 共催 日本水環境学会汽水域研究委員会

このシンポジウムは、『タカラ・ハーモニストファンド』及び日本水環境学会からの助成を受けて実施するものです。

参加無料

会場: 定員 82名
OL: 定員 100名

目代 邦康

東北学院大学地域総合学部准教授。専門は、自然地理学、地形学、自然保護論。山地斜面の地形変化の研究のほか、地形や地質などの地域の非生物環境について、多面的な価値の評価やその保全方法の開発について、実践を通して取り組んでいる。



山室 真澄

東京大学大学院新領域創成科学研究科、教授、理学博士。生元素分析、安定同位体比分析などをベースにサンゴ礁、海草藻場、汽水域、淡水湖、淡水河川での水環境問題を、先カンブリア代から完新世、近現代まで様々なタイムスパンから解明する。



中川 富男

1950年生まれ。石川県希少種保全推進員(チュウヒ、イソコモリグモ担当)、山階鳥類研究所協力調査員。1973年から河北潟で希少猛禽類チュウヒの研究を続けている。



永坂 正夫

名古屋生まれ金沢育ち。専門は陸水生態学。これまで河北潟をはじめ、日本各地の湖沼や湿地、インドネシアの泥炭地などで水生植物などの調査を行う。現在の所属は金沢星稜大学人間科学部こども学科で、主に理科教育を担当。



高橋 久

金沢大学大学院自然研究科生命科学専攻(博士課程)修了。特定非営利法人河北潟湖沼研究所理事長、ビジョン「流域の森や農地に支えられた汽水生態系の復活により、河北潟から豊かさを持続的に享受できる地域を目指します」を掲げて活動している。



井上 徹教

湖沼や内湾の水底質に関して、現場観測、室内実験、数値計算などの手法を組み合わせて、主に酸素、窒素、リンなどの物質循環に関する研究に携わっている。特に物理現象が沿岸環境の生化学的な過程に及ぼす影響を中心に検討している。



伊豫岡 宏樹

九州産業大学建築都市工学部准教授。研究テーマは汽水域・沿岸域の生物生息環境と保全に関する研究。「水」をベースとして自然と人の営みが調和した、より豊かで持続的な社会の構築を目指して、実践的な研究やプロジェクトに取り組んでいる。



福原 晴夫

河北潟湖沼研究所理事。新潟大学名誉教授。専門は陸水生態学、特に湖沼の水質、ユスリカやイトミミズ、甲殻類などの底生動物の生態。湖沼や湿原の遷移と保全に関心がある。今回の調査で、地震による地形の変化の多様性を改めて注視している。



奥川 光治

元・富山県立大学工学部。現在、NPO法人富山湾を愛する会とNPO法人河北潟湖沼研究所・理事を務め、河北潟の水質・生物調査を続けている。専門分野は環境衛生工学。湖沼の富栄養化や多環芳香族炭化水素の環境動態など研究。



シンポジウムの会場、オンライン参加案内

会場：近江町交流プラザ 集会室 (4F)

〒920-0907 金沢市青草町 88 番地 Tel : 076-260-6722

● オンライン (Zoom ミーティング)

参加申込み受付後、シンポジウム開催前に Zoom 参加 URL をメールでご案内いたします。ご案内は下記メールアドレスより送信しますので、受信許可設定をお願いいたします。

info@kahokugata.sakura.ne.jp (NPO 法人河北潟湖沼研究所)



武蔵ヶ辻バス停前のエレベーターまたは近江町いちば館広場奥のエレベーターよりお上がりください。(近江町いちば館4階)

参加のお申込み

下記欄をご記入の上、FAX または E-MAIL でお申し込みください。web でも受け付けています。当日参加も可能ですが、座席はお申込みいただいた方が優先となりますので、ご了承ください。

参加申込書		
ふりがな お名前	web 申込フォームは こちらから →	
ご住所 〒 -	所属	
E-Mail ・ FAX	参加方法 (どちらかに○) 会場 ・ オンライン	

主催 NPO 法人河北潟湖沼研究所
共催 日本水環境学会汽水域研究委員会

電話 : 076-288-5803 ▶ FAX : 076-255-6941

▶ E-Mail : info@kahokugata.sakura.ne.jp